

第 2 期保健事業実施計画(データヘルス計画)

中間評価 概要版



はじめに

- データヘルス計画は、特定健診データや診療情報明細書(レセプト)の分析に基づき効果的かつ効率的に保健事業を推進するための事業計画です。
- 生活習慣病の発症や重症化を予防することを通して「健康寿命の延伸」と「医療費・介護費の伸びの抑制を図る」ことを目的としています。
- 本市では、平成 26 年から4年間の第 1 期、平成 30 年からの 6 年間の第 2 期とするデータヘルス計画を策定し、被保険者への保健事業を実施してきました。第 2 期計画より「第 3 期特定健康診査等実施計画」を包含した保健事業計画となっています。
- 第 2 期データヘルス計画策定時から保険者努力者支援制度の評価指標が変更されたことに伴い、保健事業の見直し及び新たな取組について検討を行いました。

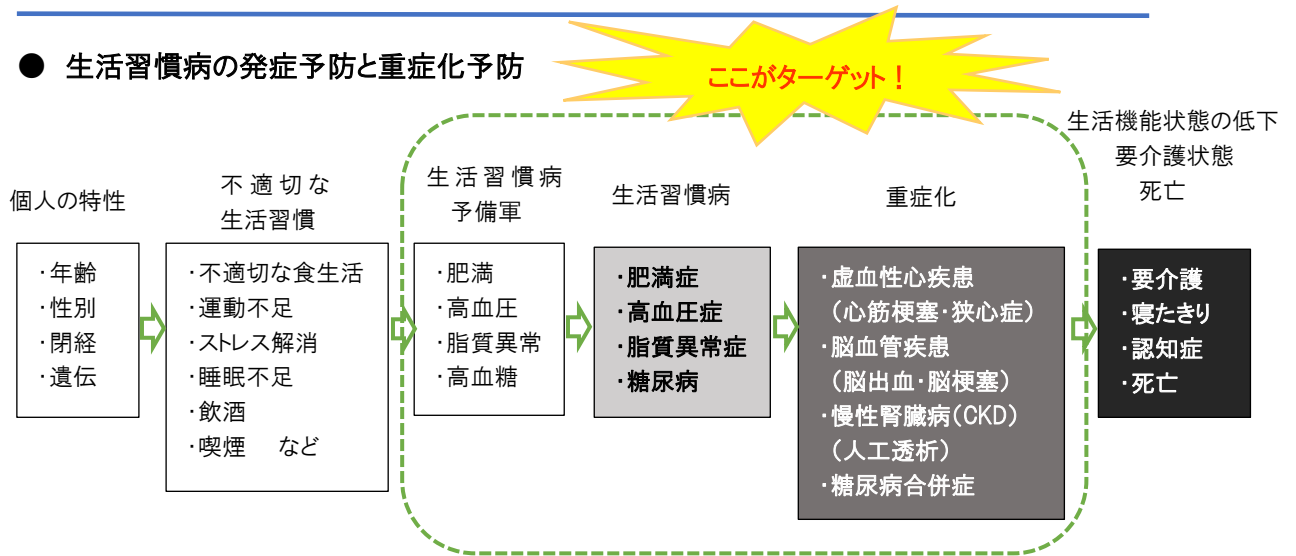
毎年度の進捗状況を確認するとともに、本計画の最終年度において総合的に評価するために中間評価を行いました。

中間評価で見直したこと

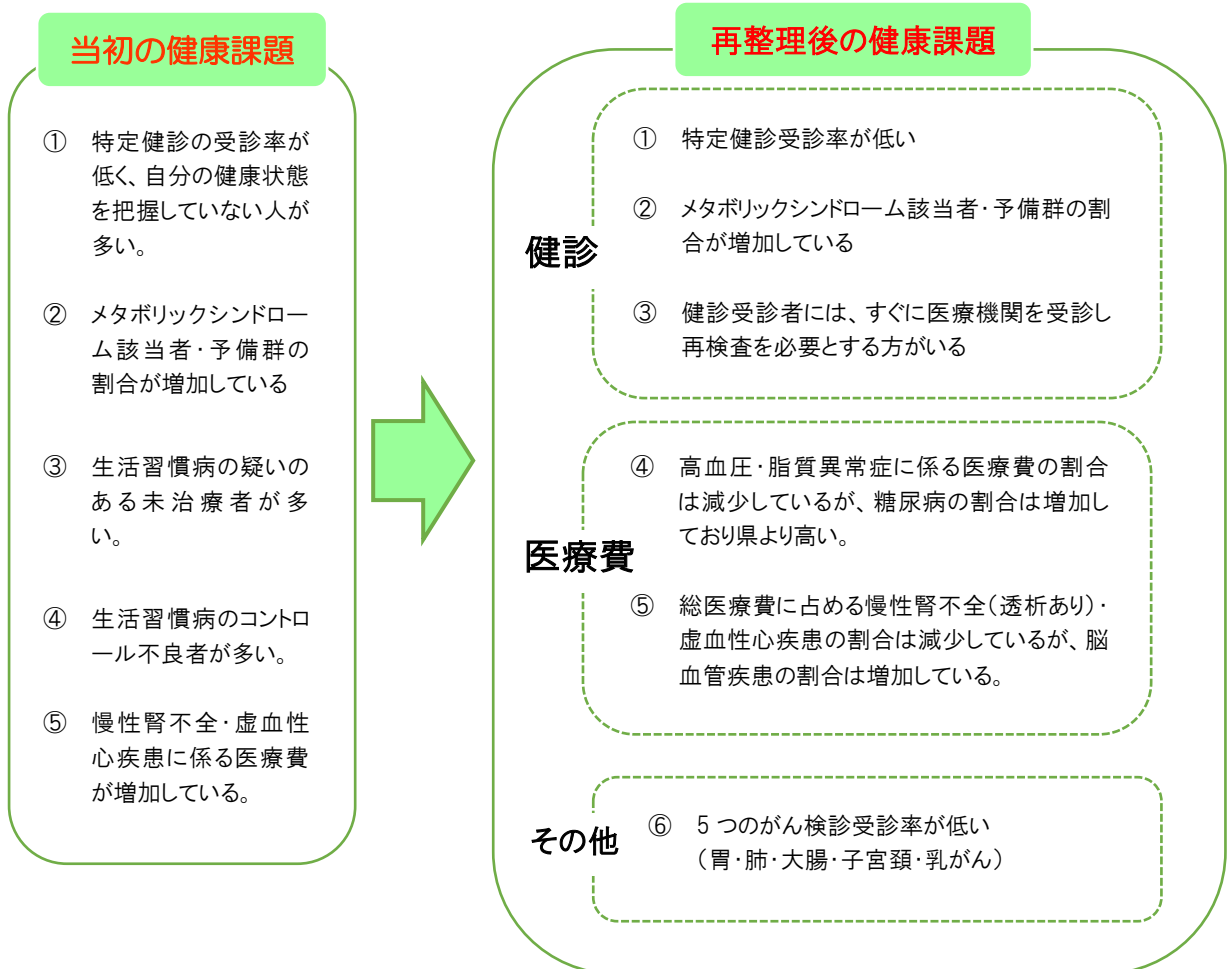
被保険者の健康課題について、国保データベース(KDB)システム等を活用し、健診データやレセプト分析を行い、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を推進するため、目標値の進捗状況を踏まえながら取組み内容等整理しました。

宜野湾市国保における健康課題

● 生活習慣病の発症予防と重症化予防



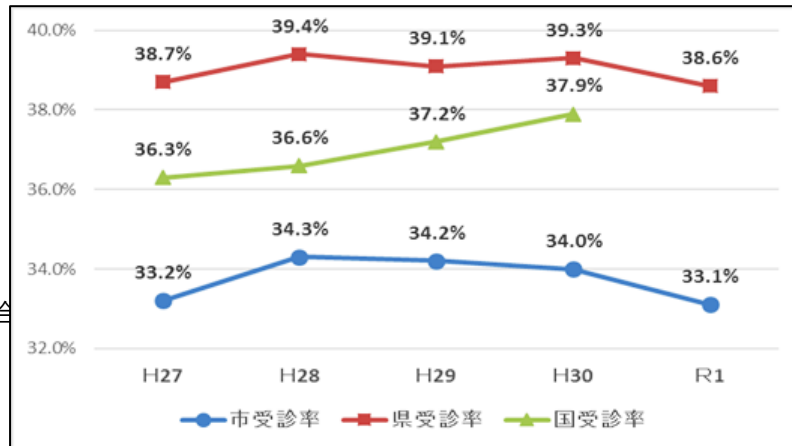
● 中間評価分析結果から、健康状態の段階毎に健康課題を再整理しました。



特定健康診査

健康課題① 健診受診率向上対策

●特定健診受診率推移



●継続受診割合

	継続受診者数	
	人数	割合
H28	3,588	65.3%
R1	3,212	62.1%

●治療中の健診未受診割合

治療中	R1健診受診	
	あり	なし
9,169	3,595	5,574
	39.2%	60.8%

<POINT>

特定健診受診率は、平成 28 年度の 34.3%から令和元年度 33.1%へと低下しており、令和元年度目標値 45.1%を大きく下回っています。また、継続受診者(リピーター)数の割合は減少しており、治療中(かかりつけ医あり)における健診未受診割合は 6 割を超えています。

→ 受診率向上対策として、新規受診者の掘り起こしは勿論のこと、リピーターの増加や医療機関との連携によるトライアングル事業(通院中の方の健診受診)強化が重要です。

健康課題② 肥満の解決

●メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

メタボリックシンドローム	宜野湾市				県	国
	H28		R1		R1	R1
該当者	1,057	20.8%	1084	23.2%	24.7%	19.0%
男性	721	31.1%	733	34.3%	35.6%	29.9%
女性	336	12.1%	351	13.8%	14.8%	10.4%
予備群	714	14.0%	660	14.1%	14.9%	11.1%
男性	482	20.8%	434	20.3%	21.0%	17.7%
女性	232	8.4%	226	8.9%	9.4%	6.0%

<POINT>

メタボリックシンドローム該当者・予備群の方が増加しています。

→ メタボリックシンドロームは、心臓病や脳卒中の発症リスクを高めるため、生活習慣改善により「肥満を解消」していくことが重要です。

健康課題③ 適切な医療につなげる・コントロール不良の改善

●ヘモグロビン A1c

	HbA1c測定	保健指導判定値						受診勧奨判定値					
		正常		正常高値		糖尿病の可能性 が否定できない	糖尿病						
		5.5以下		5.6～5.9			6.0～6.4		6.5～6.9		7.0～7.9		8.0以上
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H28	5,448	2,553	46.9%	1,779	32.7%	617	11.3%	232	4.3%	164	3.0%	103	1.9%
R1	4,948	1,867	37.7%	1,814	36.7%	767	15.5%	219	4.4%	189	3.8%	92	1.9%

●血圧

	血圧測定者	正 常				保健指導		受診勧奨判定値					
		正常		正常高値		高値血圧		Ⅰ度		Ⅱ度		Ⅲ度	
		収縮期	120未満	120～129		130～139		140～		160～		180以上	
		拡張期	かつ80未満	かつ80未満		80～89		90～		100～		110以上	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H28	5,516	1,835	33.3%	988	17.9%	1,409	25.5%	1,029	18.7%	220	4.0%	35	0.6%
R1	5,005	1,624	32.4%	918	18.3%	1,317	26.3%	934	18.7%	187	3.7%	25	0.5%

●LDL コレステロール

	LDL 測定者	正 常		保健指導判定値		受診勧奨判定値						
		120未満		120～139		140～159		160～179		180以上		
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
		A	B	B/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A	F	F/A
総 数	H28	5,516	2,557	46.4%	1,431	25.9%	895	16.2%	393	7.1%	240	4.4%
	R1	5,003	2,233	44.6%	1,221	24.4%	871	17.4%	440	8.8%	238	4.8%

<POINT>

高血圧Ⅱ度以上の割合は改善がみられる一方で、HbA1c7.0以上・LDL コレステロール 140 以上は割合が増加しています。

→糖尿病・高血圧・脂質異常症の発症だけでなく、虚血性心疾患・脳血管疾患・慢性腎不全のハイリスク要因であるため、かかりつけ医と連携を取りながら保健指導を行うことで重症化を予防することが可能と考えます。

医療費

健康課題④ 医療費の適正化

●総医療費に占める目標疾患等の割合

	総医療費	一人あたり医療費 金額	中長期目標疾患					短期目標疾患					筋・骨疾患					
			腎		脳	心	糖尿病	高血圧	脂質異常症									
			慢性腎不全(透析有)	慢性腎不全(透析無)	脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞												
H28 宜野湾市	73億0568	20,823	6億2118	8.50%	3,002	0.41%	1億5363	2.10%	1億6283	2.23%	2億8934	3.96%	2億4542	3.36%	1億1515	1.58%	5億0795	6.95%
R1	72億7318	23,018	3億7425	5.15%	1,977	0.27%	1億6885	2.32%	1億4283	1.96%	3億0539	4.20%	1億9410	2.67%	1億0245	1.41%	5億6043	7.71%
R1 沖縄県	1217億円	24,808	78億2357	6.43%	3億7850	0.31%	28億4075	2.33%	21億0353	1.73%	47億9179	3.94%	31億4213	2.58%	19億2181	1.63%	94億4073	7.76%
国	9兆5460億円	26,225	4247億円	4.45%	296億円	0.31%	2017億円	2.11%	1612億円	1.69%	5161億円	5.41%	3359億円	3.52%	2461億円	2.58%	8390億円	8.79%

最大医療資源傷病（調剤含む）による分類結果

【出典】KDBシステム：健診・医療介護データからみる地域の健康課題

◆「最大医療資源傷病名」とは、レセプトに記載された傷病名のうち最も費用を要した傷病名

<POINT>

- ・平成28年度と令和元年度を比較すると、慢性腎不全(透析あり)は、8.5%から5.15%に減少していますが、国平均の1.2倍となっています。また、脳梗塞・脳出血は2.1%から2.32%に増加しています。
- ・狭心症・心筋梗塞は2.23%から1.96%へ減少しましたが、国・県平均より高い割合となっています。
- ・糖尿病及び筋・骨疾患における医療費割合が増加しており、肥満による代謝異常及び膝痛など身体への影響がみられます。

健康課題⑤ 新規透析導入予防対策

●新規透析患者数

		H28年度	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	計
全数		14	10	10	6	40
(再掲) 糖尿病診断の有無	あり	11	8	8	4	31
	なし	2	2	2	2	8

【出典：保険者データヘルスシステム】

●人工透析患者の状況

			全体	糖尿病性腎症	脳血管疾患	虚血性心疾患
H28	H28.5月 診療分	人数	114人	60人 52.6%	36人 31.6%	55人 48.2%
		件数	1,512件	812件 53.7%	446件 29.5%	648件 42.9%
	H28年間 累計	費用額	7億0953万円	3億9466万円 55.6%	2億1628万円 30.5%	3億1550万円 44.5%
		人数	106人 ↓	61人 57.5% ↑	37人 34.9%	57人 53.8%
R1	R1年間 累計	件数	1,422件	758件 53.3%	433件 31.2%	671件 47.2%
		費用額	6億9450万円	3億4924万円 50.3%	2億0876万円 30.1%	3億3210万円 47.8%

◇人数は各年度5月診療分レセプトより計上

◇件数と費用額は各年度の累計

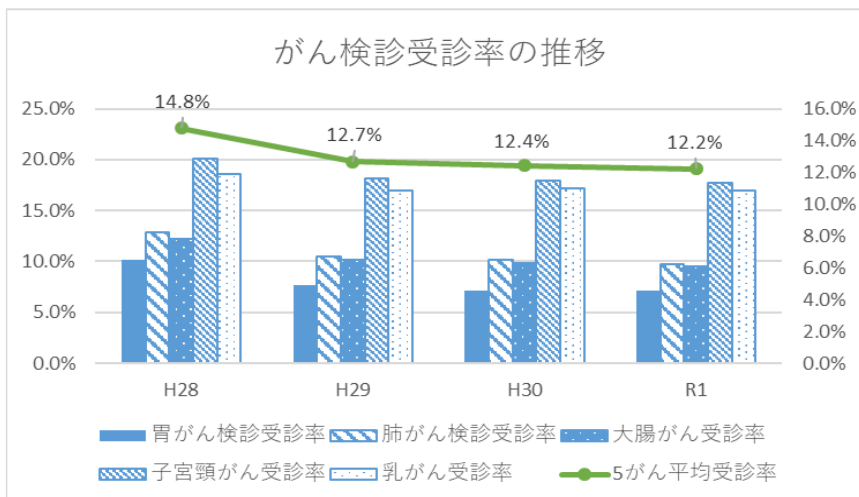
<POINT>

新規人工透析導入者における糖尿病有病者数は減少していますが、人工透析者における糖尿病性腎症の割合は増加しています。

→人工透析患者は高血圧などの複数の生活習慣病を持っており、生活習慣病の重症化予防に取り組むことで、新規透析導入者減少に努めていきます。

その他の取組

健康課題⑥ がん検診受診率向上による早期発見・早期治療



5がんにおける精密検査受診率

	H28	R1
胃がん	59.6%	45.3%
肺がん	70.0%	61.1%
大腸がん	33.3%	30.5%
子宮頸がん	60.8%	55.4%
乳がん	68.8%	81.3%

<POINT>

本市の5がん(胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん)平均受診率は、令和元年度で 12.5%と低い水準であり、特に胃・肺・大腸の各がん検診は 10%前後と低いです。

精密検査の 5 がん平均受診率は 50.9%であり、肺・子宮頸・乳がんでは受診率 50%を超えています。

→早期発見・早期治療のために、受診率向上及び精密検査受診率向上に向けた取組が重要です。

新たな取り組み

第 2 期データヘルス計画策定後保険者努力者支援制度の評価指標が変更されたため、追加された 4 つの評価指標である「健診受診者のHbA1c8.0 以上の未治療者の割合減少」、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」、「5 つのがん検診の平均受診率」、「歯科検診(歯周病健診含む)」の 4 つの目標を追加して保健事業の方向性を考えていくこととなりました。

被保険者の健康寿命の延伸・医療費の適正化



中長期目標

- 1 糖尿病性腎症による新規透析導入の減少
- 2 虚血性心疾患の減少
- 3 脳血管疾患の減少

短期目標

- 1 特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上
- 2 メタボリックシンドローム・予備群の減少
- 3 糖尿病有病者の増加の抑制
- 4 脂質異常症の減少
- 5 高血圧の改善
- 6 がん検診受診率の向上

追加

- 1 HbA1c8.0 以上の未治療者の割合減少
- 2 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
- 3 5つのがん検診受診率向上
- 4 歯科健診(歯周病健診含む)の実施
- 5 健康ポイント等の取り組みを実施



具体的な保健事業の取組

事業名	内容
① 特定健診受診率向上事業	特定健診の受診率向上を図ります。
② 特定保健指導事業	国が定める特定保健指導を実施し、生活習慣病の発症予防・重症化予防を図ります。
③ 要医療者受診勧奨事業	健診を受診して要医療と判定された未治療者に対し、保健指導や受療勧奨を行い重症化予防を図ります。
④ 糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病が疑われる医療機関未受診者等に受療勧奨を実施するとともに、治療中コントロール不良者などの糖尿病性腎症ハイリスク者に対して保健指導を実施し、新規透析導入予防等の重症化予防を図ります。 慢性腎臓病ハイリスク者も含めた取組を行います。
⑤ ポピュレーションアプローチ	健康ポイントの活用や「肥満の原因となるあぶらの摂取に着目した食の指導」に重点をおいた肥満解決に向けた保健指導を実施します。
⑥ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	KDB システムを活用し、国保のみならず後期高齢者の医療費・介護費等の分析を行い、ハイリスクアプローチ（個別支援）やポピュレーションアプローチ（健康教育・健康相談）を組み合わせ切れ目のない保健事業を実施します。
⑦ がん検診受診率向上事業	がん検診の受診率向上とともに、精密検査の受診率向上によるがんの早期発見・早期治療に努めます。
⑧ 歯科健診（歯周病健診含む）の実施	歯科健診の実施に向けて取り組んでいきます。